

海軍歷史

卷廿三至卷廿五終

九



★10012151★



D1
9

海軍歷史卷之二十三

船譜

目錄

政府軍艦

政府洋製諸船

邦製諸船

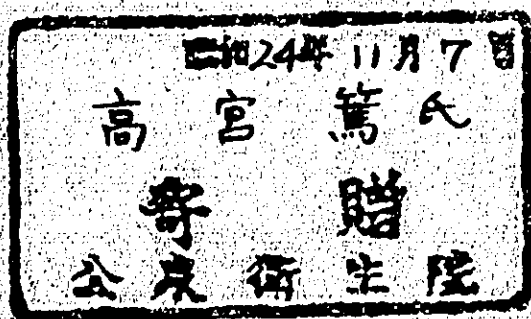
諸侯船譜

和蘭留學生ノ建白

留學ノ給費

開陽艦附屬諸器械ノ勘定書

留學生延期ノ允可



開陽艦備付大砲ノ増加
開陽艦來着
開陽艦乗組和蘭海員ノ給額
和蘭人へ謝物ヲ贈ル
富士山艦ノ明細書
富士山艦代價ノ談判
小野友五郎米國ニ赴キ裝鐵船ヲ購入ス
長人誤テ長崎丸ヲ砲撃ス
翔鶴丸ノ修補ヲ佛人ニ托ス
千代田艦ノ製造

海軍歴史卷之二十三

船譜

政府軍艦

艦名	原名	船形	砲	馬力	幅	長	噸數	製造國名	造年	造地	受取年月	受取地	價	原主
觀光	スクリュー	外車	六門	百五十	長二十九間 巾五間	深四間		和蘭	千八百五十年	フレッセン	安政二年八月 千八百五十五年	長崎	贈呈	和蘭王威廉三世
咸臨	ジエツパ	内車	十二門	百	長廿七間半 巾四間			同	千八百五十六年	カンデル	同四年九月 千八百五十七年	同	拾万弗	解廢元五年船
蟠龍	エンビロ	同	四門	六十	長廿三間一尺 巾三間三尺 深二間一尺			英吉利		ブレッキ	安政五年七月 千八百五十八年	江戸	贈呈	英國女王
朝陽	江戸	同	十二門	百	長廿七間 巾四間			和蘭	千八百五十六年	カンデル	同	長崎	拾万弗	
富士	フジヤマ	同	十二門	三百五十	長卅一間 巾五間三尺		千	米	千八百六十四年	ニウヨル 新約	慶應元五年二月 千八百六十六年	横濱	廿四万弗	
回天	イーグル	同	十二門	四百	長卅八間 巾五間五尺		七百十	普	千八百六十五年	ダンジク	同二年六月 千八百六十六年	長崎	十八万弗	米人 ウワールス
開陽		同	廿六門	同				蘭	千八百六十六年	クトルトレ	同三年五月 千八百六十七年	横濱	四十万弗	

政府洋製諸船

船名	原名	船形	船質	幅	長	馬力	噸數	造國	造年	造地	受取年月	受取名	價	原主
鵬翔丸	カタリナ アレシヤ	バルク	木	長廿間 巾四間一尺		○	三百四十英		千八百五十七年	安政五年 八月十八日	長崎			万延元年七月廿三日於下田遇風破船
千秋丸	デニール エブストル	同	同			○	二百六十米		千八百五十一年	文久元四年七月十八日	橫濱	弗一萬六千		イスタンナルト
健順丸	アルチャ	同	同			○	三百七十同		千八百五十六年	同年九月	箱館	弗二萬二千		ルース
千歲丸	アルミス アス	同	同			○	三百五十英		千八百五十五年	文久二年六月十八日	長崎	弗三萬四千		ソワアルド 英英國無電報伊クトリア交換
順勤丸	ジンキ 仁記	蒸氣 車鐵		長四十間 巾四間三尺 深二間四尺		三百六十	四百〇五同		千八百六十一年	同日	横濱	十五萬弗		ダブリウイ 合ンゴスト組
昌光丸	ナンキン 京内同車	同				五十	八十一同		千八百六十年	同年十二月廿九日	同	四萬五千五百弗		エフレツチ 文久三年七月三日於新州府中遇風破船

長崎丸 番一	協鄰丸 山サント東	長崎丸 シアルツ フアルリス	太平丸 鯉魚門	長崎丸 番二 ジョシリ		翔鶴丸 楊ヤンチ子	神速丸 メア日	黒龍丸 金グムシン	太江丸 ターキヤ	美加保丸 ブランデ	鵜港丸 リマズナッ
同	同	同	同	同	同	外同	内同	同	同	同	同
車	木	同	船	車	同	車	車	同	同	同	同
			長四十六間	長卅一間一尺 巾四間一尺 深二間二尺		長卅三間 巾四間	長廿一間四尺 巾二間四尺	長廿八間半 巾四間二尺 深三間	長廿七間 巾四間二尺 深三間	長廿九間 巾五間半 深四間半	長十九間四尺 巾四間三尺 深二間四尺
六十	九十	六十	五百五十	百廿	二十五	三百五十	四十五至 二百五十	百	百廿	○	○
九十四	一百六十	百卅八	三百七十	一百四十	八十五	三百五十米	同	同	同	八百普	三百〇五米
同	同	英	同	同	同	同	同	同	同		千八百五十四年
千八百五十七年	千八百六十年	千八百六十四年	千八百五十九年	千八百六十二年	千八百五十五年	千八百五十七年	千八百六十一年	千八百六十三年	千八百六十六年	千八百六十八年	千八百七十四年
レッドア	新約	ボムベ	ウアル	ガラスゴ		クニヨル	セヤムロ	ワソバ	クニヨル	トリエス	トル
文久三年二月	同年二月十五日	同年二月	同年二月十八日	同年十月十三日	同年十一月	同年十一月廿九日	元治元年十二月六日	同年七月十九日	同年八月	慶應元年五月五年	同年八月廿日
長崎	同	同	横濱	長崎	同	横濱	箱館	江戸	横濱	長崎	同
六万六千	十三万五千	四万八千	十九万五千	十萬	三萬	十四万五千	四万七千	十二万五千	十一萬	三萬五千	同
ミストル	エロリルト	ジブリウィ	ダント組合	トラ組合		ダント組合	ダレイキ	越前家			ウラルス
元治元年十二月二日於入主候	文久三年六月於廣瀬松島	元治元年四月於下關	爲長人所災	三本橋スクナル				千八百六十三年於長崎守米圖り買受			慶應元年十二月十日於田浦被破

同邦製諸船									
船名	船形	幅	長	石	敷	造年	造地		
龍翔丸	マルタリ	内車	長十五間半 深二間半	卅五	六十六	英	千八百六十六年	同	同
長鯨丸	ドムバル	外車	長四十一間四 尺六間四	三百	九百九十	同	同	同	同
奇捷丸	タバンニ	内車	長卅六間五 尺五間三	五百十	五百十七	同	同	同	同
	ケストル	同	長廿三間三 尺三間三	四十	百六十一	同	同	同	同
行速丸	フイセン	外車	長廿七間 尺四間半	二百五十	米	同	同	同	同
千歳丸	ラウアリ	内車	長廿三間 尺四間二	○	三百廿三	英	同	同	同
飛龍丸	スプロミ	内車	長廿六間半 尺五間半	九十	米	同	同	同	同
鳳凰丸	バルク	同				安政元寅年五 月	相州 浦賀	慶應二寅年 月於石川 島改造就豐形	

昌平丸	同	長十五間 深三間				安政元寅年	薩州 鹿兒島	安政二卯年七月上納
鳳瑞丸	同						同	安政三辰年九月破却
大元丸	同						同	元治元子年 月破却
旭日丸	同	長廿三間一 尺五間二				安政三辰年	江戸 石川島	水戸老疾督工
君澤丸	スク子ル						伊豆 下田	
長崎丸	コツトル	長十二間 巾三間				安政四巳年	長崎	
箱館丸	スク子ル	長十八間 巾四間					箱館	
龜田丸	同						同	
先登丸	蒸氣 内車						長崎	慶應元丑年 月解船
千代田丸	同	長十七間二 尺巾二間半	六十 馬力			元治元子年成 二寅年十二月機 据付全成	江戸 石川島	

諸侯船譜

尾州

船名	原名	船形	質	幅	長	馬力	噸數	製造	造年	造地	受取	地名	價	原主
神力丸	ワンデレ	スクチル木				〇	百七十五米	國名	千八百五	バルチモ	文久二戌年十	横濱	一万卅	エロルト組合



紀州

明光丸	バハマ	内 蒸 車 鐵		長四十二間 深三間半	百五十	八百八十	英	千八百六	倫敦	元治元年十	長崎	十三万八		
致遠丸	バルク	木		長四十間四尺 巾五間	二百	五百四十	同	千八百五	同	慶應三卯年四	同	十五万卅	オールド	



越前

黒龍丸	コムシ	内 蒸 車 鐵		長廿八間半 巾四間二尺	百		米	千八百六	ワシバ	文久三亥年五	長崎	十二万五	トーマス組合	元治元年七月
富有丸	ベルリン	ブスクチル		長廿一間半 巾四間二尺	〇	二百七	同	千八百五	クニウヨル	慶應元丑年四	同	一万壹千	ウツルズ	十九日於政府



出雲

八雲丸	ガーゼリ	内 蒸 車 鐵		長卅四間半 巾四間半	八十	三百三十	英	千八百六	ランズドル	文久二戌年十	同	八万卅	ボウル組合	二本橋大砲八門
同	イトウチ	木		長廿五間半 巾四間半	六十	百六十七	米	千八百六	同	同年同月	同	九万二千	ピコンクリ	二本橋大砲四門

加賀

錫懷丸	シラフ	内 蒸 車 鐵		長廿七間 巾四間	七十五	二百四十	英	千八百六	フグリン	文久二戌年十	横濱	十萬卅	ドウ組合	慶應二寅年加修
李百里	シラハ	同		長卅四間 巾五間	百十	五百四十	同	千八百六		慶應元丑年十	長崎	十一万二		



薩州

天祐丸	インダラ	内 蒸 車 鐵			百	七百四十	英	千八百五	ガラスゴ	万延元年申十	長崎	十二万八	トブリニス	文久三亥年七月
永平丸	コフイリ	同			三百	七百四十	同	千八百五	同	文久二戌年八	横濱	十三万卅	ジョルマシ	文久二戌年於明

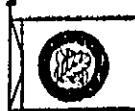
安行丸	サーラ	同	同	長州同 中三間	四十五	百六十	英	千八百六 十二年	ワグリーノ	同	同年九月三日	同	七万五千	バイ組合 アル組合	慶應元五年十一 月於和蘭ボウ
平運丸	ラソコト	同	同	長州五間五尺 巾五間半	百五十	七百五十	同	千八百六 十二年	同	同年二月朔日	同	同	七万五千	同	慶應二寅年於 和蘭ボウトウイ ン改竊兵庫
胡蝶丸	ホーキン 建	外 同	同	長廿三間五尺 巾四間二尺	同	四百二十六 七十四	同	千八百六 十二年	同	同年四月八日	同	同	十二万	同	同四年正月四 日自於阿波
翔鳳丸	ロチユス	内 同	同	同	九十	四百六十	同	千八百六 十年	同	同年四月八日	同	同	十二万	同	同四年正月四 日自於阿波
乾行丸	ストルク	同	同	同	同	四百九十	同	千八百六 十年	同	同年四月八日	同	同	十二万	同	同四年正月四 日自於阿波
豐瑞丸	ノムブル ウアソ	同	同	長州四間 巾四間	百五十	同	同	千八百六 十年	同	同年四月八日	同	同	十二万	同	同四年正月四 日自於阿波
龍田丸	ハントル ス	同	同	長十七間半 巾三間	〇	三百八十 米	同	千八百五 十五年	同	同年十月十七日	同	同	七万五千	同	同四年正月四 日自於阿波
開開丸	ファイラ	内 同	同	同	同	四百八十 英	同	千八百五 十五年	同	同年十月十七日	同	同	七万五千	同	同四年正月四 日自於阿波
萬年丸	キンリン	同	同	同	同	二百七十	同	千八百五 十二年	同	同年十月十七日	同	同	七万五千	同	同四年正月四 日自於阿波
三國丸	ゼラール	同	同	長廿九間半 巾七間四尺	百十	四百十	同	千八百六 十二年	同	同年十月十七日	同	同	八万	同	同四年正月四 日自於阿波
櫻島丸	ユニラン	同	同	長廿五間 巾三間一尺	七十	二百〇五	同	千八百六 十二年	同	同年十月十七日	同	同	六万	同	同四年正月四 日自於阿波

仙臺

肥後

筑前

大極丸	ウイルウ エイフ	スチル 木	〇	同	同	千八百五 十五年	同	千八百五 十五年	同	同年三月	同	一萬二千	同	同	同
春日丸	キヤンス	外 同	同	長四十一間 巾四間五尺	三百	千〇十五	同	千八百六 十三年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
有功丸	ルハヨーマ	内 同	同	同	同	同	同	同	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
開成丸	スチル	木	同	長十八間二尺 巾四間一尺	同	同	同	同	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
萬里丸	コスモ ライト	内 同	同	長四十間 巾二間半	百廿	六百	佛	千八百三 十九年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
凌雲丸	ガラナ	同	同	長十五間五尺 巾二間一尺	百六十	三百五十	英	千八百五 十八年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
奮迅丸	フエーリ	同	同	長十五間五尺 巾二間一尺	二十	五十	同	千八百六 十五年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
泰運丸	コレア	同	同	長廿三間二尺 巾四間一尺	〇	四百八十	同	千八百六 十三年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同
神風丸	カゴシマ	同	同	長廿五間 巾四間	〇	三百六十	同	千八百六 十六年	同	同年三月十一日	同	同	同	同	同



日下丸	大鵬丸	環瀛丸	安藝丸
シ、エ、チ バルク	コロムビ 外 車 同	エレン 内 車 同	ル、エン 外 車 同
〇	長廿二間一尺 深三間一尺	長廿六間三尺 深二間二尺	長廿二間一尺 深二間五尺
四百四十 米	二百八十 七百七十	百廿 四百五十	九十 二百〇
千八百五 新	千八百五 同	千八百六 ラフスコカ	千八百六 同
文久四年九 月	同 二戊年九月	同 千八百六十二	同 千八百六十七
長崎	九万五千 リット	十二万五 千	四万
ル、エ、チ	ケウイット	ゴロウエル	
文久二年 日於紀州大島			

安藝

肥前

震天丸	達觀丸	萬年丸	豐安丸	電流丸	晨風丸
黎、リ 内 車 同	バルク 木	キンリン 内 車 同	ジ、ア、バ 外 車 同	ナカサキ 内 車 同	コフトル 同
長廿五間 深二間半	長十八間二尺 深二間		長廿四間四尺 深七尺五寸	長廿七間 深四間半	長十二間 深二間
八十 百八十一		二百七十 英	百廿六 三百七十	百 五十	〇
千八百六 ガラスコ			千八百六 同	千八百五 ダムツアル	千八百五 安政五年
文久三年 三月六日		同 千八百六十六	同 千八百六十六	同 千八百六十六	同 千八百六十六
横濱	長崎	同	同	長崎	長崎
八万九千 グレンチ			十一万	十萬	十萬
		薩州			

小城

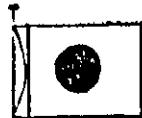
阿波

土佐

甲子丸	車月丸	凌風丸	孟春丸	大木丸	乾元丸	通濟丸	南海丸	胡蝶丸
カ、ア、ジ 内 車 同	エド 同	外 車 同	イ、ウ、ゼ、ニ 内 車 同	ドル、ヒ、ン バルク	イ、シ、ン、ト、ロ 内 車 同	スク、チ、ル 同	上、サ、ン、ハ、イ 内 車 同	ヒ、ヨ、ウ、ゴ 外 車 同
長廿八間四尺 二百四十	長廿八間半 三百七十		長廿二間 深一丈	長廿二間 深四間半	九十 千五百	〇	長廿一 巾五間	長廿三 巾四間二尺
英	同	國製	百四十 九百五十	三百九十 米	米	國製	百 四百十二	百五十 四百十六
千八百五 ト、ム、バ、ル	千八百六 ラ、ス、カ、ウ	千八百五 佐、賀	千八百六 倫、敦	千八百六 ボ、ス、ト、ン	千八百六 ス、マ、ル、シ、ル		千八百五 文久三年	千八百六 文久三年
元治元年九 月	同 千八百六十四	同 千八百六十六	同 千八百六十六	同 千八百六十六	同 千八百六十六		同 千八百六十六	同 千八百六十六
長崎	同	同	長崎	長崎	長崎		長崎	長崎
十二萬	七萬		十萬	二萬三千	八萬八千		十一萬	七萬
ワイルト ゴ	ワイルト			ゴ、ロ、ブ、ス	ト、ム、ス、ワ		ウ、イ、ル、フ、ン	和蘭
大 門 砲	大 門 砲		大 門 砲				大坂	大坂



遼鶴丸	翔風丸	晨風船	玄鳥丸	雄飛丸	久留米	蜻蛉	乙女	南海船	羽衣	横笛	夕顔
ンタイシヤ	メリジエ	マルチイ	スワロ	サトウ		スパンキ	フーサカ	ナンカイ	カフヒル	セイボル	スーイリ
同	スクチル	内蒸	スクチル	内蒸		内蒸	バルク	内蒸	同	スクチル	同
同	同	同	木	鐵		鐵	同	同	同	木	同
長十四間 巾三間二尺 深一間三尺	長十六間二尺 巾三間四尺	長十八間五尺 巾三間二尺 深二間二尺	長十三間一尺 巾二間四尺 深一間半	長廿五間 巾三間三尺 深二間三尺		長廿四間 巾四間四尺 深二間	長廿四間 巾四間四尺 深二間	長十四間 巾三間二尺 深一間三尺	長十九間 巾三間二尺 深二間三尺	長十九間二尺 巾四間四尺 深二間	長廿六間 巾四間三尺 深二間四尺
○	○	百	○	六十		○	○	廿五	○	○	百五十
百九十	百四十	一百	百〇七	二百五十		六百八十	三百八十	百四十	百八十六	二百六十	九百五十
同	英	同	米	英		英	米	同	同	同	同
	千八百六 十三年	千八百六 十四年	千八百六 十三年	千八百六 十年		千八百六 十二年	千八百六 十二年	千八百六 十六年	千八百六 十年		千八百六 十三年
	新嘉坡	彼士頓		ガラズゴ		クニウヨル	クニウヨル	上海			
同	同年九月廿八	同年九月十二	慶應二寅年八月四日	元治元年二月		慶應二寅年十一月廿五日	同年七月朔日	同年六月廿五日	同年三月十八	同年六月十日	慶應三卯年二月廿九日
同	同	同	同	長崎		同	同	同	同	同	同
八千弗	七千弗	五万三千	四千七百	七万五千		一万七千	一万七千	七万五千	一万三千	一万七千	十五万五千
和蘭	葡葡牙	ロビ子フト	フレンチ	トーマスゴ		ワイルス	ワイルス	英商	ワイルト		ワイルト
ボウドイン	ロレロ	大砲						大砲			



神雀丸	支チエーナ 那ナ	内 蒸 車 氣 鐵	長七間半 巾一間一尺 深一間	八	同	上 海 同 年 九 月	同	六 千 弗				
神風丸		ス ク 子 ル 木	長十八間 巾五間 深三間四尺	○	國 製 安 政 五 年 津							
	ビ ー タ ル ク ラ ン デ ル	内 蒸 車 氣 鐵	長廿六間 巾三間五尺	八十	二百五十 英	千八百六 十六年	リ フ ル フ	慶應三卯年七 月朔日 千八百六十七	長 崎 六 万 弗	和 蘭 船 主 ラ ン デ ル グ		
庚申丸		内 蒸 車 氣 鐵			英		万 延 元 申 年	横 濱				
壬戌丸	ラ ン ス ヒ ー ル ト	同		三百	八百四十 同	千八百五 十五年	ガ ラ ス ゴ	文久二戌年九 月廿七日 千八百六十二	同	十一万五 千弗	チ ヨ ル デ イ ン マ ス ソ ン 組 合	文久三亥年六 月於下ノ關爲和蘭 軍船所打沈
癸亥丸	タ ン リ ツ	ブ リ キ 木		○	二百八十 同	千八百四 十三年	ブ リ ヒ ール	文久三亥年正 月廿九日 千八百六十三	同	二万弗	同	
丙寅丸	ア ン ト ウ	内 蒸 車 氣 鐵	長廿間半 巾二間半 深七尺八寸	三十	九十四 同	千八百六 十五年		慶應二寅年五 月 千八百六十六		五万弗	ゴ ロ ウ エ ル	
丁卯丸	ヒ ン グ	同								十一万弗		
乙丑丸	ユ ニ ラ ン	内 同 車 木	長廿五間二尺 巾三間四尺 深一丈一尺	七十	三百 同			慶應元丑年十 月 薩州ヨリ				

津	長 門	秋 田
---	--------	--------

七



松



福海丸

スク子ル木

南部

廣運丸

ウイフチ
バルク

長廿一間
巾三間四尺

〇

二百三十
英

千八百五
十五年

ニウカス
トル

文久三
年三月

箱館

二万五千

組合

リントセー

慶應二
年三月
七日於
奥州所
合

松山

弘濟丸

丹名
丸
バルク

長十七間半
巾三間四尺

〇

國製

新紀
宮州

慶應二
年三月

長崎

七万

新宮水野氏

慶應二
年三月

破却

小英丸

チウサン
山
内
車
鐵

長廿一間四尺
巾四間四尺
深二間四尺

八十

四百三十
英

千八百六
十二年

慶應二
年三月

長崎

七万

新宮水野氏

慶應二
年三月

破却

小倉

飛龍丸

スプロミ
内
車
木

長廿六間半
巾五間

九十

米

千八百六
十四年

新約

慶應元
年五月

長崎

八万三千

英商

ツール

慶應三
年六月
廿九日
於政府

姫路

速鳥丸

スク子ル木

長十五間
巾三間

〇

石四百五十

國製

安政五
年六月

姫路

金花丸

同

長八間
巾一間四尺

〇

百石

同

同

神護丸

同

長十八間
巾四間

〇

千二百石

同

同



莊内

龍神丸

スク子ル木

長十六間四尺
巾三間四尺
深三間四尺

〇

國製

津輕

安濟丸

バルク

長廿一間四尺
巾五間二尺

〇

石六百六十

國製

慶應二
年正月

奥州

福山

順風丸

スク子ル木

長十八間五尺
巾四間一尺
深四間

〇

八百

國製

文久三
年正月

備後

宇和島

天保祿

ツク
内
車
鐵

長廿二間
深三間五尺

六十

三百四十
英

慶應二
年五月

長崎

二万

開産丸

アルマー
スク子ル木

長十五間
深三間五尺
巾三間半

〇

百三十一
米

千八百六
十一年

同

同

同

同

八百百兩

ウツルス

祥瑞丸

エリシー
内
車
鐵

長十四間
巾三間

廿五

六十七
英

千八百五
十五年

同

同

同

同

同

ゴロウエル

松山

快風丸

ゴール
スノル
ワラ
スク子ル木

長十七間
巾三間二尺

〇

百八十
米

新約

文久二
年九月

同

同

同

同

同

同

同

大野 土井

大野丸	○	スケチル木	長十八間 巾四間	○	國製							慶應元年五月 船日於蝦夷地破
-----	---	-------	-------------	---	----	--	--	--	--	--	--	-------------------

大洲 加藤

伊呂波丸	サーラ	蒸氣 車鐵	長三十間 巾三間 深二間	四十五	百六十	英	千八百六 十二年	ギリノ ツク	慶應二 年 千八百六十六	長 崎 七 万 弗	和蘭 ボー ード イン	慶應三 年五月 於中國 南海與 明光丸 相撞沈 沒
------	-----	----------	--------------------	-----	-----	---	-------------	-----------	--------------------	-----------------------	----------------------	---

政府軍艦 八艘

同諸船舶 三拾六艘

總計 四拾四艘

此代價三百三拾三万六千弗

但國製諸船及購買代價未詳者除之

諸藩 廿九 所有船舶

總計 九拾四艘

此代價四百四十九万四千弗ト金八千百兩也

但前同斷

我國ノ海禁ヲ弛メ大船製造ノ停止ヲ解キシヨリ 嘉永六年
内軍艦製造ノ說大ニ起リ安政元年五月幕府相州浦賀ニ於
テ歐式ニ模倣シ鳳皇丸ヲ打造ス繼テ薩州鹿兒島ニ於テ昌
平丸ヲ作ル是輓今我邦洋法造船ノ濫觴トス又安政二年六
月和蘭政府ヨリ觀光艦ヲ贈リシヨリ邦人始テ火輪機器ノ
巧妙ナルヲ知リ續テ咸臨朝陽ノ二艦ヲ購收シ愈海軍ノ邦
國ニ必用ナルヲ知得シ盛ニ其技ヲ講習シ運用ノ術ヲ修鍊
スルニ至ル偶開港ノ舉アルニ會シ一時内外紛擾海防ノ忽
ニ是可ヲサルヲ以テ幕府令ヲ諸藩ニ下シ船艦ヲ充備セシ
ム是ニ於テ諸藩モ競テ大船ヲ製造シ又海外ヨリ船艦ヲ購
入スルニ至レリ幕府及ヒ各藩ノ收藏スル船舶其合數無慮

[illegible]

此箱中尙十六罇十八
罇十二罇ノ信火管二
十四ヲ納テ操練用ニ
充ツ

100

2011
 12
 12
 12
 12

鐵
馬
金
車
人
心
地
步
天
天
天
天
天

二、所論之「六等六具」各歸其

縣志序人百正十十癸十二月十四日

[illegible]

、
目
錄

紀元千八百五十七載十二月

軍器

一個十二拇青銅忽微礮 第百五十七號

四個一斤青銅自在迦農 第十五號 第三十五號 第三百六十號 第三百六十一號

四個十二斤長迦農 第千三百零九號 第千三百十號 第千三百十一號 第千三百十三號

八個三十斤葛龍礮

一個十二拇白礮 第一號

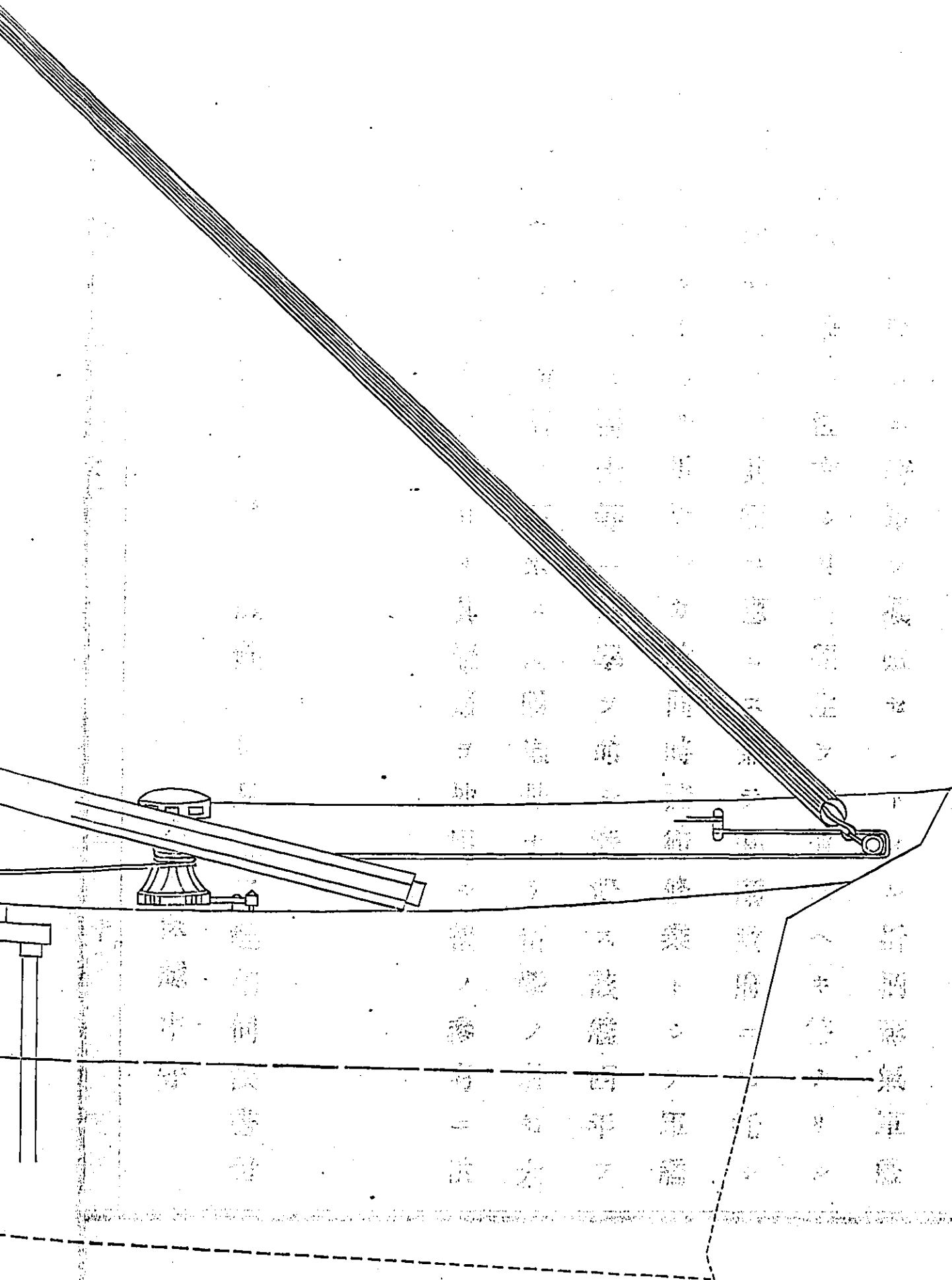
三十九個手銃
三十個艦用手銃
九個艦軍手銃

十五個拳銃

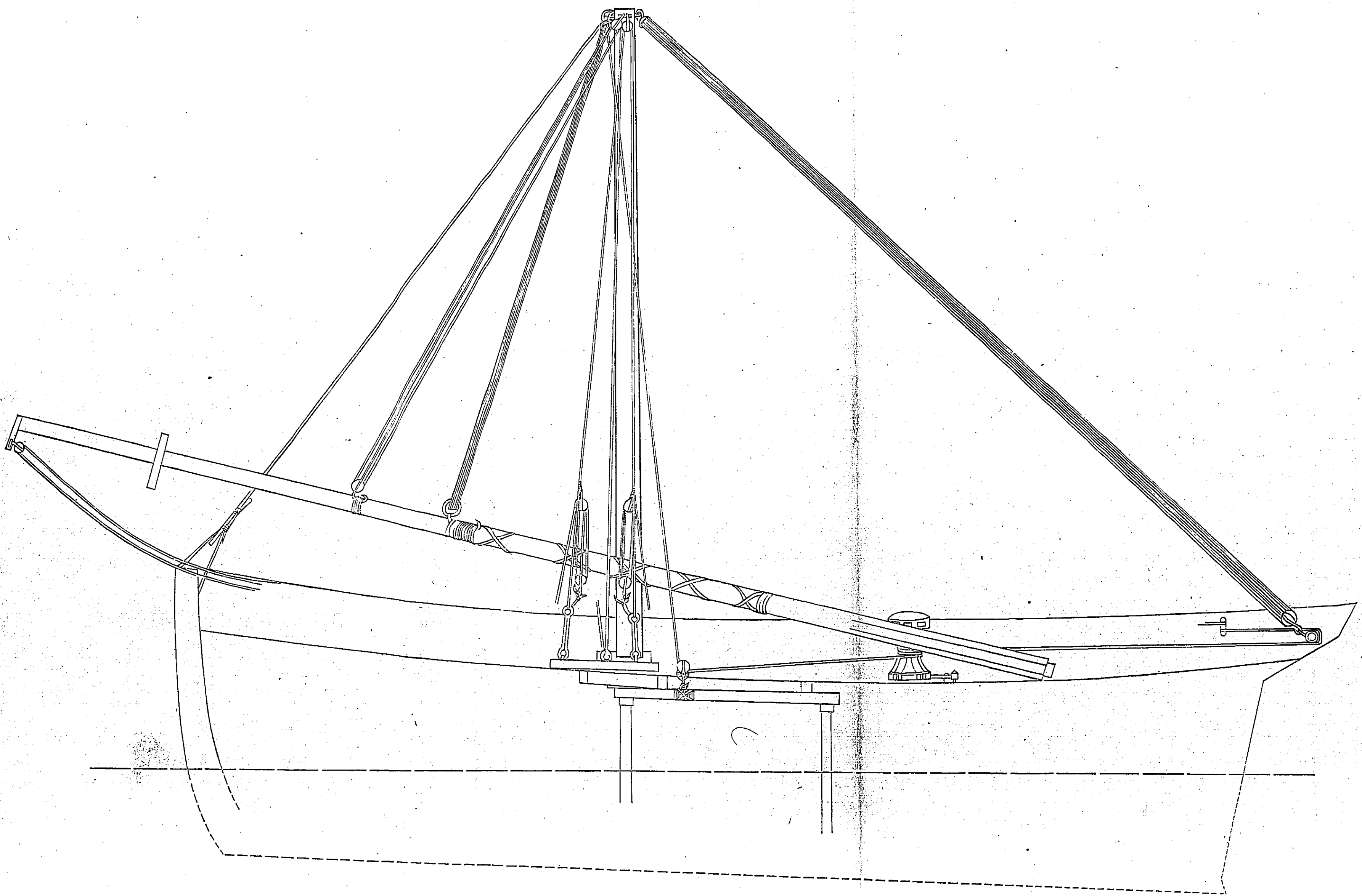
操練ニ預備スル火藥及ヒ火攻具收納ノ量

[illegible]

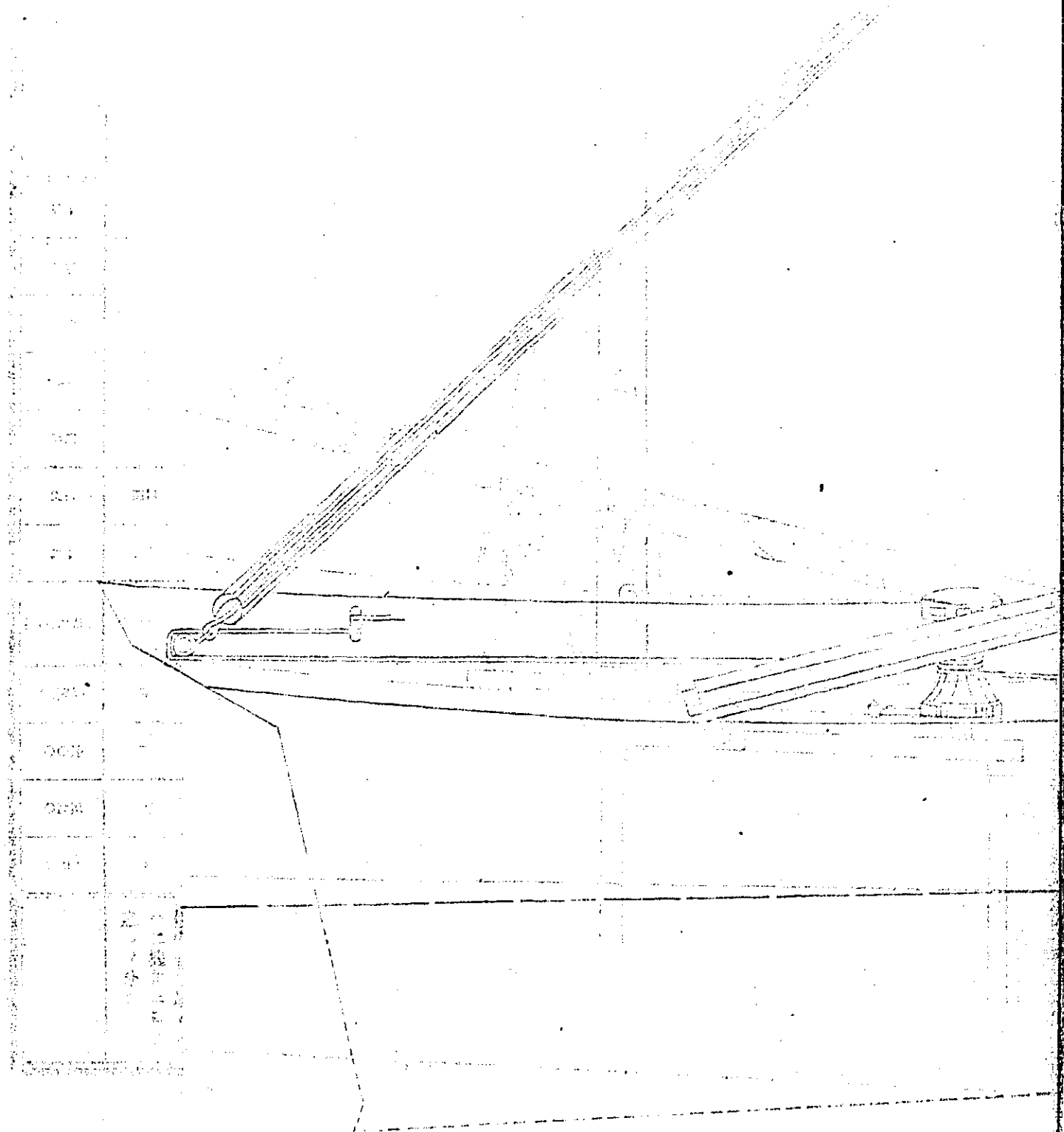
コ
ツ
ト
ル
船
之
圖



コットル船之圖



和蘭國留學及開陽艦ノ記事



和蘭國留學及開陽艦ノ記事

文久二壬戌年政府大ニ海軍ヲ擴張セントスル折柄蒸氣軍艦
兩三隻ヲ米國政府ニ注文シ且留學生ヲモ遣スヘキ筈ナリシ
カ適同國南北戦争ニテ其需ニ應セス兼テ和蘭政府ニモ托シ
軍艦ヲ製造セントスル折ナルカ故同時諸術修業トシテ軍艦
組蕃書調所出役及ヒ醫士等ニ留學ヲ命シ派遣ス該艦四年ヲ
經テ落成丁卯五月横濱ニ渡來ス開陽艦是ナリ留學ノ者モ大
半歸朝ス今當時ノ文書中ヨリ其概略ヲ抄出シ後ノ參考ニ供
ス

和蘭國に御軍艦御詔相成候ニ付見込之趣相伺候書付

大久保越中守

井上信濃守

木村攝津守

古賀薩一耶

淺野伊賀守

妻木田官

亞米利加國政府に蒸氣軍艦貳艘御詔相成製造中御軍艦組
蕃書調所出役之もの等諸術爲研究被差遣候旨被仰渡夫
支度取整ひ候儀之處亞國政府之方差支有之急速治定之御
請ハ不申上趣候處今般和蘭國に蒸氣軍艦壹艘御詔相成候
ニ付而ハ右製造之方却而速ニ出來可申義と奉存候間前書
亞國に業前爲修行被差遣候旨被仰渡候御軍艦組蕃書調所
出役之者共ハ銘々支度等も出來いたし居何時被差遣候而

も差支無之且ハ銘々一途ニ蕃國に被差遣候儀を規模と致
し深く存込罷在候と遅延相成候而ハ右等之氣張と失ひ可
申と奉存候ニ付和蘭國に御詔相成候蒸氣軍艦製造之方
振替前書之者共被差遣候様仕度此段奉伺候以上

戊二月

覺

伺之通可被心得候事

和蘭國に御詔船製造中諸術爲研究被差遣候御軍艦組
其外之者御手當之義ニ付相願候書付

御軍艦奉行

成六月十一日伺濟
四百俵四ツ物成月割
西十二月廿六日伺濟
別段御手當
一日金壹兩壹分永八拾三文三分
御暇

金貳枚
時服二羽織

成六月十一日伺濟
百五拾俵四ツ物成月割
成六月九日伺濟
別段御手當
一日金壹兩宛

成六月十一日伺濟
百五拾俵四ツ物成月割
西十二月廿六日伺濟
別段御手當
一日金三分
御暇代リ
金貳拾兩

兩番格
御軍艦組
内田恒次郎

奥御醫師
洞海梓
林 研海

小普請組
初鹿野備後守支配
長春院養子
伊藤 玄伯

同
岡田將監支配
圓兵衛次男
御軍艦組
榎本釜次郎

御軍艦奉行支配
御軍艦組出役
澤 太郎左衛門

御先手
松平源太夫組與力
外國奉行支配調役並出役
吉澤源次郎弟
同
赤松 大三郎

同
久世謙吉家來
田 口 俊平

松平三河守家來
洋書調所教授方出役
津 田 眞一郎

堀田鴻之丞家來
佐波銀次郎厄介
同
西 周 助

御船附水夫
貳 人

成六月九日伺濟
別段御手當
一日永百六拾六文六分ツ、

成六月十一日伺濟
雜用一ヶ月金四兩貳分ツ、
西十二月廿六日伺濟
別段御手當
一日金三分ツ、
路金
拾兩宛